

## 四日市港社会見学体験乗船

### 「伊勢丸」に乗船、船内を探検し四日市港を周遊

秋晴れに恵まれた 10月 27日、三重県四日市港で四日市内の小学 3年生を対象に、四日市港社会見学体験乗船を開催した

社会見学体験乗船は、船員職業を子どもたちに学んでもらうとともに、港町「四日市市」における船と港と船員の重要性について理解を深めることを目的として 2013年から全日本海員組合が主催し、中部運輸局三重運輸支局、四日市市教育委員会、四日市港管理組合、中部海事広報協会が後援、伊勢湾フェリー株式会社と四日市ポートサービス株式会社の協力のもと、毎年開催をしている。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大と変異株の出現により中止としたが、今年度は政府方針や四囲の状況を勘案し、四日市市教育委員会、参加校、伊勢湾フェリーの関係者間で事前に意見交換を重ね、乗船前検温・手指消毒・通風換気・不特定多数の接触を避けるべく、午前午後で 1校ずつの乗船とし、さらにフェリー運航の船員とは終始接触を避けるなど、感染防止対策を徹底し、万全の態勢を整えての開催となった。

#### -体験乗船-

乗船式が各部で行われ、平岡英彦中央執行委員が主催者を代表してあいさつをした。

【午前の部】 四日市市立楠小学校 69人の児童

【午後の部】 四日市市立橋北小学校 35人の児童

#### -来賓あいさつ-

午前の部 竹野兼主<sup>たけのかねすけ</sup>四日市市議会議員

午後の部 前田賢一<sup>まえのけんいち</sup>四日市市教育委員会参事兼課長から「船の仕事、船の楽しさを学び、実りある楽しい思い出を作ってください」とあいさつが述べられた。

船が出航し岸壁を離れると船内は児童たちの歓声に包まれ、スタッフの指示に従って 4班に分かれた児童たちは、船内でさまざまなイベントを体験し四日市港沖を周遊した。

#### ■ 船内探検ツアー

船橋の外から船員が働く様子を見学し、船内の係船設備や非常用脱出シューターなどについて学習した

#### ■ 命を守る救命具

船内備え付けの救命器具類を見ながら消防員装具や自己点火灯などの説明、さらに「救命胴衣の必要性」について学んだ後、実際に着衣体験をした。

児童たちは初めて見る船内機器や救命具などに興味津々で、積極的に質問をし、学習した

#### ■ ロープワーク体験「もやい結び」

執行部から結び方のレクチャーを受け、上手に速く結べるよう真剣に取り組む児童たちの姿がみられた。楽しく学習した後、早結び競争も開催され上位入賞者には早駒運輸株式会社から提供いただいたストラップが進呈された

#### ■ 四日市港の船と港紹介

乗船した「伊勢丸」や四日市港に入港する船舶・港で働く人の仕事、コンビナートと生活の関わり、海上物流などを紹介し学習した。

児童らは学んだことをノートに記し疑問点は積極的に質問するなどして理解を深めた

児童たちは、入港間際に普段見ることの出来ない繋船作業(四日市ポートサービス)の様子を見学し、終わりに、海事広報協会・太平洋フェリーより提供された記念品を手渡されて笑顔で下船した。

「海員だより」